

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【11】 1110_クリスタル・パレスVSフラム

DATE

2024/11/10

NAME

田中裕介

MATCH REPORT

SCORE 2-0 (1st 1-0 2nd 1-0)

TOP3 point

- ・ フラムの躍動感が際立つ試合運び
- ・ 怪我人続出のパレスは台所事情そのままの出来に
- ・ フラム左サイドのトライアングルは脅威

Challenges to the Next

- ・ 試合中の配置変更によるメリット・デメリットの説明
- ・ DFライン3枚と4枚の対戦時の入口・出口の見分け
- ・ フィニッシュの際のFWの狙いをより言語化する

【クリスタル・パレス】

システムは5-3-2。

3バック左にクライン、中盤をゲーイ、鎌田、この日プレミアデビューのデヴェニーの3枚を並べ前線にマテタ、サールを配置。

怪我人続出の中、グラスナー監督は主将とルーキーの中盤起用を選択。

序盤はショートカウンターとマテタへのロングボールでチャンスを作った。

リスクをかけたビルドアップは選択せずに前半は無失点で終わりたいゲームプランだったか。相手左サイドの攻撃の迫力を抑えることができず何度かチャンスを作られるがGKヘンダーソンのセービングで防ぐ。自陣のミスからも大ピンチを迎えるがCBラクロワの素晴らしいカバーリングで事なきを得る。

しかし前半残りわずか試合が動いてしまう。ミドルサードでラクロワが痛恨のパスミス。ヒメネスに繋がれたボールを先ほどチャンスを逃したスミス・ロウに冷静に沈められ0-1。痛い失点を喫して前半を終えた。

後半はゲーイを3バックに配置し鎌田をCHへ。中盤からの配給を求めた采配。

立ち上がりは攻勢をかけていくがCKからのロングカウンターからあわや失点（VAR取消）の場面を作らせてしまうなど終始フラムのスピードについていけない場面が目立った。特に大きなチャンスを作れないまま時間は過ぎ、鎌田の退場も重なり万事休す。交代出場のウィルソンにも追加点を決められ0-2。試合内容・結果ともに完敗と言える試合だった。

【フラム】

システムは4-2-3-1。

劇的勝利を収めた前節同様の配置で連勝を狙った。

試合開始から左SBロビンソンのタイミングの良い攻撃参加で

左サイドを中心に攻撃を仕掛ける。中盤のペレイラ、スミス・ロウが自由に動きボールを引き出しWG,CFと絡んでいく。

ピッチを大きく使いボールを動かしてパレスにボディブローを与えていく。

前半終了間際にスミス・ロウが相手ミスをうまくついて冷静なフィニッシュ。

待望の先制点を奪う。守備では古巣対戦となったアンデルセンを中心に

集中した守りを見せる。アンデルセンは終始ビルドアップの貢献度も高かった。

後半もフラムの勢いは止まらず。パレスの3バックのギャップをうまく突いてチャンスを作っていく。特にペレイラやロビンソンのフリーランニングは非常に効果的だった。1-0で進んだ残り時間わずか前節のヒーローウィルソンが交代出場からまたしてもゴール。素晴らしい抜け出しからトラップからの左足フィニッシュ。交代からわずかセカンドタッチで試合を決めた。

試合を通してゴールに向かうプレーとキープするプレー選択がチーム全体として共有できており好調をキープした試合内容で最高の結果をものにした。

個人的なMVPは左SBアントニー・ロビンソン。